

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	50 T 高温超伝導無冷媒超伝導磁石の要素技術開発
研究代表者	淡路 智 (東北大学・金属材料研究所・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、世界最高となる50Tを実現する高温超伝導無冷媒超伝導磁石の要素技術を開発することを目的としている。高磁場の実現は、科学技術を支える基盤であり、特に物性物理学の分野において国際競争力を保つために必要なものである。また、その要素技術は、医療用高分解MRIなどへの波及効果も期待できる。</p> <p>応募者は、実用超伝導磁石の世界記録を保持していた25Tの無冷媒超伝導磁石を実現するなど、様々な経験を有しており、本研究を遂行し、十分な研究成果を上げることが期待できる。</p>